



平成27年11月11日

各 位

会 社 名 株式会社マツモトキヨシホールディングス
コード番号 3088 東証第1部
代 表 者 名 代表取締役社長 松本 清雄
問 合 せ 先 執行役員財務経理部長 石橋 昭男
TEL 047-344-5110

（訂正）「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、平成26年8月12日に開示いたしました「平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日（平成27年11月11日）付「平成28年3月期第1四半期決算短信及び過年度に係る決算短信等（訂正版）の公表について」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前及び訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本清雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和富士雄 TEL (047)344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	111,781	△5.5	2,761	△46.5	3,321	△41.7	1,586	△48.4
26年3月期第1四半期	118,280	6.2	5,162	28.8	5,694	24.5	3,074	53.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,710百万円(△45.6%) 26年3月期第1四半期 3,145百万円(42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	29.22	29.20
26年3月期第1四半期	58.03	56.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	<u>241,015</u>	<u>148,216</u>	<u>61.2</u>	<u>2,729.36</u>
26年3月期	<u>253,301</u>	<u>150,222</u>	<u>59.0</u>	<u>2,737.09</u>

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 147,511百万円 26年3月期 149,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	248,600	4.4	9,100	△4.2	10,100	△4.2	5,200	△10.5	95.19
通期	510,000	3.0	22,500	0.3	24,600	0.3	13,400	0.3	245.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
新規 一社 除外 一社

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	54,636,107株	26年3月期	54,629,307株
27年3月期1Q	589,974株	26年3月期	834株
27年3月期1Q	54,315,657株	26年3月期1Q	52,970,798株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
5. 補足情報	10
売上及び仕入の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）における日本経済の状況は、各種の景気指標には明るさが見られているものの、消費税増税による消費行動の変化、ガソリン価格の高騰や原材料価格の上昇など、先行の不透明感は未だ拭えない状況で推移しております。

ドラッグストア業界におきましては、業種／業態を越えた競合企業の新規出店、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争など、我々を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のなか当社グループは、これまで取り組んでまいりました3つの行動変革（①事業構造の変革、②意識・行動の変革、③マーケティングプロセスの変革）に一定の成果が得られたことから、ビジョン達成に向けた新たな経営戦略に取り組んでおります。

具体的には、当社グループが得意とする、美と健康の分野に特化した「ビッグデータの収集と利活用」および「マーケティング技法の充実」を基軸に、「顧客理解の深化」「専門性・独自性の確立」「事業規模の拡大」に努めることにより、競争優位性を確立し、美と健康の分野になくてはならない企業グループを目指してまいりました。

また、全国を7つのエリアに分けたエリアドミナント化を積極的に推進するとともに、ポイントカード会員の加入促進、LINEクーポンを始めとする当社グループならではの販売促進策の展開など、「信頼される地域に密着したかかりつけの薬局（ドラッグストア）」として、小商圏化する市場のなかで当社グループのファンづくりを強化してまいりました。

新規出店に関しましては、グループとして29店舗（フランチャイズ2店舗を含む）オープンし、各種の環境変化により将来業績に貢献の見込めない20店舗を閉鎖しました。また、多様化するお客様ニーズへの対応および既存店舗の活性化を重点に26店舗の改装を実施しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、1,495店舗となり、前期末と比較して9店舗増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高1,117億81百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益27億61百万円（同46.5%減）、経常利益33億21百万円（同41.7%減）、四半期純利益15億86百万円（同48.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、株式会社示野薬局の連結、既存事業会社の新規出店、変化するニーズに対し最適化を図るためのスクラップ&ビルド、改装による既存店舗の活性化、効率的な販売促進策の展開など、各種の施策を着実に実行してまいりました。

しかし、前期末に発生した消費税増税前の駆け込み需要の反動減、昨年よりも早い梅雨入りやゲリラ豪雨など、天候や気温要件の影響により、昨年は大幅伸長したシーズン商品の販売は大変厳しい実績となりました。

一方、展開を強化しております調剤事業に関しましては、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

既存契約企業の新規出店により拡大した一方、小売事業同様に消費税増税前の駆け込み需要の反動減、天候や気温要件によりシーズン商品の販売が厳しい状況であったため卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は1,074億36百万円（前年同期比5.0%減）、卸売事業35億43百万円（同20.3%減）、管理サポート事業8億1百万円（同1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,410億15百万円となり、前連結会計年度末に比べて122億85百万円減少いたしました。主な要因は、商品が35億11百万円増加したものの、現金及び預金が81億12百万円、受取手形及び売掛金が35億51百万円、流動資産のその他が40億24百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は927億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて102億80百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が27億円増加したものの、支払手形及び買掛金が59億3百万円、未払法人税等が55億10百万円、賞与引当金が14億80百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,482億16百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億5百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益15億86百万円を計上したものの、自己株式が20億95百万円増加し、純資産が減少したことや、配当金16億38百万円による減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,188	10,075
受取手形及び売掛金	14,950	11,398
商品	<u>60,244</u>	<u>63,755</u>
貯蔵品	692	652
その他	22,811	18,787
貸倒引当金	△71	△58
流動資産合計	<u>116,815</u>	<u>104,611</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	41,921	41,921
その他	27,000	27,216
有形固定資産合計	<u>68,922</u>	<u>69,137</u>
無形固定資産		
のれん	11,634	11,308
その他	3,693	3,648
無形固定資産合計	<u>15,327</u>	<u>14,956</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,717	35,575
その他	16,999	17,223
貸倒引当金	△481	△489
投資その他の資産合計	<u>52,235</u>	<u>52,309</u>
固定資産合計	<u>136,485</u>	<u>136,403</u>
資産合計	<u>253,301</u>	<u>241,015</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,215	60,312
短期借入金	300	3,000
1年内返済予定の長期借入金	84	62
未払法人税等	6,141	631
賞与引当金	3,161	1,680
ポイント引当金	2,821	2,922
資産除去債務	37	21
その他	11,689	11,468
流動負債合計	90,451	80,098
固定負債		
長期借入金	6	3
退職給付に係る負債	864	883
資産除去債務	4,408	4,456
その他	7,347	7,356
固定負債合計	12,627	12,700
負債合計	103,078	92,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,041	22,051
資本剰余金	22,821	22,832
利益剰余金	<u>103,343</u>	<u>103,291</u>
自己株式	△2	△2,098
株主資本合計	<u>148,203</u>	<u>146,077</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,319	1,434
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,434
新株予約権	35	35
少数株主持分	663	670
純資産合計	<u>150,222</u>	<u>148,216</u>
負債純資産合計	<u>253,301</u>	<u>241,015</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	118,280	111,781
売上原価	84,206	79,102
売上総利益	34,074	32,679
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	395	100
給料及び手当	9,772	10,283
賞与引当金繰入額	1,608	1,653
退職給付費用	222	209
地代家賃	6,431	6,671
その他	10,481	10,998
販売費及び一般管理費合計	28,911	29,917
営業利益	5,162	2,761
営業外収益		
受取利息	44	43
受取配当金	133	139
固定資産受贈益	117	157
発注処理手数料	146	152
その他	109	98
営業外収益合計	550	592
営業外費用		
支払利息	8	10
貸倒引当金繰入額	—	10
その他	10	12
営業外費用合計	18	32
経常利益	5,694	3,321
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	109	59
減損損失	380	362
その他	14	60
特別損失合計	504	482
税金等調整前四半期純利益	5,190	2,847
法人税、住民税及び事業税	1,474	531
法人税等調整額	605	725
法人税等合計	2,080	1,257
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	1,590
少数株主利益	36	3
四半期純利益	3,074	1,586

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	1,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	119
その他の包括利益合計	34	119
四半期包括利益	3,145	1,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,111	1,701
少数株主に係る四半期包括利益	33	8

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年5月19日から平成26年6月30日までの期間に自己株式589千株を取得しております。

この結果、単元未満株式の買取による増加を含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,095百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末の自己株式が2,098百万円となっております。

なお、当四半期連結会計期間以降、平成26年7月1日から平成26年7月31日までの期間において、自己株式84千株（取得価額の総額296百万円）を取得しております。

この結果、平成26年7月31日現在の自己株式が2,396百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	65,023	48,016	139	4,309	792	118,280	—	118,280
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	61	78,320	13,076	2,184	93,652	△93,652	—
計	65,033	48,077	78,460	17,385	2,977	211,933	△93,652	118,280
セグメント利益又は セグメント損失（△）	3,511	1,491	341	134	△160	5,317	△155	5,162

（注） 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△155百万円には、のれんの償却額△239百万円及びセグメント間取引消去84百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額380百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で8百万円、「その他小売事業」で377百万円となり、連結決算における消去・調整で△4百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	60,799	46,637	45	3,498	801	111,781	-	111,781
セグメント間の 内部売上高又は振替高	52	57	76,158	13,600	2,203	92,072	△92,072	-
計	60,851	46,694	76,203	17,098	3,005	203,853	△92,072	111,781
セグメント利益又は セグメント損失（△）	2,491	334	341	87	△229	3,025	△263	2,761

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△263百万円には、のれんの償却額△323百万円及びセグメント間取引消去60百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額362百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で62百万円、「その他小売事業」で312百万円となり、連結決算における消去・調整で△12百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	107,436	95.0
卸売事業	3,543	79.7
管理サポート事業	801	101.1
合計	111,781	94.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	33,180	97.4
化粧品	39,305	91.4
雑貨	21,932	95.4
食品	12,917	100.5
小計	107,336	95.0
卸売事業	3,459	81.2
合計	110,796	94.5

(注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。

2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	21,472	99.2
化粧品	30,124	96.6
雑貨	17,016	97.0
食品	11,420	101.5
小計	80,033	98.1
卸売事業	2,380	62.0
合計	82,414	96.4

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(訂正前)



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 株式会社マツモトキヨシホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3088 URL <http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本清雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 尾和富士雄 TEL (047)344-5110
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	111,781	△5.5	2,761	△46.5	3,321	△41.7	1,586	△48.4
26年3月期第1四半期	118,280	6.2	5,162	28.8	5,694	24.5	3,074	53.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 1,710百万円(△45.6%) 26年3月期第1四半期 3,145百万円(42.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	29.22	29.20
26年3月期第1四半期	58.03	56.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	241,419	148,621	61.3	2,736.84
26年3月期	253,705	150,626	59.1	2,744.50

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 147,915百万円 26年3月期 149,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	248,600	4.4	9,100	△4.2	10,100	△4.2	5,200	△10.5	95.19
通期	510,000	3.0	22,500	0.3	24,600	0.3	13,400	0.3	245.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無
新規 一社 除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	54,636,107株	26年3月期	54,629,307株
27年3月期1Q	589,974株	26年3月期	834株
27年3月期1Q	54,315,657株	26年3月期1Q	52,970,798株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
5. 補足情報	10
売上及び仕入の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～平成26年6月30日）における日本経済の状況は、各種の景気指標には明るさが見られているものの、消費税増税による消費行動の変化、ガソリン価格の高騰や原材料価格の上昇など、先行の不透明感は未だ拭えない状況で推移しております。

ドラッグストア業界におきましては、業種／業態を越えた競合企業の新規出店、M&Aによる競合企業の規模拡大、同質化する異業種との競争など、我々を取り巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のなか当社グループは、これまで取り組んでまいりました3つの行動変革（①事業構造の変革、②意識・行動の変革、③マーケティングプロセスの変革）に一定の成果が得られたことから、ビジョン達成に向けた新たな経営戦略に取り組んでおります。

具体的には、当社グループが得意とする、美と健康の分野に特化した「ビッグデータの収集と利活用」および「マーケティング技法の充実」を基軸に、「顧客理解の深化」「専門性・独自性の確立」「事業規模の拡大」に努めることにより、競争優位性を確立し、美と健康の分野になくしてはならない企業グループを目指してまいりました。

また、全国を7つのエリアに分けたエリアドミナント化を積極的に推進するとともに、ポイントカード会員の加入促進、LINEクーポンを始めとする当社グループならではの販売促進策の展開など、「信頼される地域に密着したかかりつけの薬局（ドラッグストア）」として、小商圏化する市場のなかで当社グループのファンづくりを強化してまいりました。

新規出店に関しましては、グループとして29店舗（フランチャイズ2店舗を含む）オープンし、各種の環境変化により将来業績に貢献の見込めない20店舗を閉鎖しました。また、多様化するお客様ニーズへの対応および既存店舗の活性化を重点に26店舗の改装を実施しました。

その結果、当第1四半期連結会計期間末におけるグループ店舗数は、1,495店舗となり、前期末と比較して9店舗増加しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間は、売上高1,117億81百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益27億61百万円（同46.5%減）、経常利益33億21百万円（同41.7%減）、四半期純利益15億86百万円（同48.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

小売事業は、株式会社示野薬局の連結、既存事業会社の新規出店、変化するニーズに対し最適化を図るためのスクラップ&ビルド、改装による既存店舗の活性化、効率的な販売促進策の展開など、各種の施策を着実に実行してまいりました。

しかし、前期末に発生した消費税増税前の駆け込み需要の反動減、昨年よりも早い梅雨入りやゲリラ豪雨など、天候や気温要件の影響により、昨年は大幅伸長したシーズン商品の販売は大変厳しい実績となりました。

一方、展開を強化しております調剤事業に関しましては、既存店への併設を含め高い収益性が見込める物件を優先的に開局するとともに、地域医療連携を深めることで処方箋応需枚数が増加したことなどから引き続き順調に拡大しております。

<卸売事業>

既存契約企業の新規出店により拡大した一方、小売事業同様に消費税増税前の駆け込み需要の反動減、天候や気温要件によりシーズン商品の販売が厳しい状況であったため卸売事業売上は減少しました。

このような営業活動に基づき、小売事業の売上高は1,074億36百万円（前年同期比5.0%減）、卸売事業35億43百万円（同20.3%減）、管理サポート事業8億1百万円（同1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は2,414億19百万円となり、前連結会計年度末に比べて122億85百万円減少いたしました。主な要因は、商品が35億11百万円増加したものの、現金及び預金が81億12百万円、受取手形及び売掛金が35億51百万円、流動資産のその他が40億24百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は927億98百万円となり、前連結会計年度末に比べて102億80百万円減少いたしました。主な要因は、短期借入金が27億円増加したものの、支払手形及び買掛金が59億3百万円、未払法人税等が55億10百万円、賞与引当金が14億80百万円、それぞれ減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,486億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億5百万円減少いたしました。主な要因は、四半期純利益15億86百万円を計上したものの、自己株式が20億95百万円増加し、純資産が減少したことや、配当金16億38百万円による減少です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,188	10,075
受取手形及び売掛金	14,950	11,398
商品	<u>60,648</u>	<u>64,159</u>
貯蔵品	692	652
その他	22,811	18,787
貸倒引当金	△71	△58
流動資産合計	<u>117,219</u>	<u>105,016</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	41,921	41,921
その他	27,000	27,216
有形固定資産合計	<u>68,922</u>	<u>69,137</u>
無形固定資産		
のれん	11,634	11,308
その他	3,693	3,648
無形固定資産合計	<u>15,327</u>	<u>14,956</u>
投資その他の資産		
敷金及び保証金	35,717	35,575
その他	16,999	17,223
貸倒引当金	△481	△489
投資その他の資産合計	<u>52,235</u>	<u>52,309</u>
固定資産合計	<u>136,485</u>	<u>136,403</u>
資産合計	<u>253,705</u>	<u>241,419</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,215	60,312
短期借入金	300	3,000
1年内返済予定の長期借入金	84	62
未払法人税等	6,141	631
賞与引当金	3,161	1,680
ポイント引当金	2,821	2,922
資産除去債務	37	21
その他	11,689	11,468
流動負債合計	90,451	80,098
固定負債		
長期借入金	6	3
退職給付に係る負債	864	883
資産除去債務	4,408	4,456
その他	7,347	7,356
固定負債合計	12,627	12,700
負債合計	103,078	92,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,041	22,051
資本剰余金	22,821	22,832
利益剰余金	103,748	103,696
自己株式	△2	△2,098
株主資本合計	148,607	146,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,319	1,434
その他の包括利益累計額合計	1,319	1,434
新株予約権	35	35
少数株主持分	663	670
純資産合計	150,626	148,621
負債純資産合計	253,705	241,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	118,280	111,781
売上原価	84,206	79,102
売上総利益	34,074	32,679
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	395	100
給料及び手当	9,772	10,283
賞与引当金繰入額	1,608	1,653
退職給付費用	222	209
地代家賃	6,431	6,671
その他	10,481	10,998
販売費及び一般管理費合計	28,911	29,917
営業利益	5,162	2,761
営業外収益		
受取利息	44	43
受取配当金	133	139
固定資産受贈益	117	157
発注処理手数料	146	152
その他	109	98
営業外収益合計	550	592
営業外費用		
支払利息	8	10
貸倒引当金繰入額	—	10
その他	10	12
営業外費用合計	18	32
経常利益	5,694	3,321
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	109	59
減損損失	380	362
その他	14	60
特別損失合計	504	482
税金等調整前四半期純利益	5,190	2,847
法人税、住民税及び事業税	1,474	531
法人税等調整額	605	725
法人税等合計	2,080	1,257
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	1,590
少数株主利益	36	3
四半期純利益	3,074	1,586

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,110	1,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34	119
その他の包括利益合計	34	119
四半期包括利益	3,145	1,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,111	1,701
少数株主に係る四半期包括利益	33	8

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会決議に基づき、平成26年5月19日から平成26年6月30日までの期間に自己株式589千株を取得しております。

この結果、単元未満株式の買取による増加を含め、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,095百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末の自己株式が2,098百万円となっております。

なお、当四半期連結会計期間以降、平成26年7月1日から平成26年7月31日までの期間において、自己株式84千株（取得価額の総額296百万円）を取得しております。

この結果、平成26年7月31日現在の自己株式が2,396百万円となっております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	65,023	48,016	139	4,309	792	118,280	—	118,280
セグメント間の 内部売上高又は振替高	10	61	78,320	13,076	2,184	93,652	△93,652	—
計	65,033	48,077	78,460	17,385	2,977	211,933	△93,652	118,280
セグメント利益又は セグメント損失（△）	3,511	1,491	341	134	△160	5,317	△155	5,162

（注） 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△155百万円には、のれんの償却額△239百万円及びセグメント間取引消去84百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額380百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で8百万円、「その他小売事業」で377百万円となり、連結決算における消去・調整で△4百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	小売事業		卸売事業		管理サポート 事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	マツモトキヨシ 小売事業	その他 小売事業	マツモトキヨシ ホールディングス 卸売事業	その他 卸売事業				
売上高								
外部顧客への売上高	60,799	46,637	45	3,498	801	111,781	-	111,781
セグメント間の 内部売上高又は振替高	52	57	76,158	13,600	2,203	92,072	△92,072	-
計	60,851	46,694	76,203	17,098	3,005	203,853	△92,072	111,781
セグメント利益又は セグメント損失（△）	2,491	334	341	87	△229	3,025	△263	2,761

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失（△）の調整額△263百万円には、のれんの償却額△323百万円及びセグメント間取引消去60百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額362百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、それぞれ「マツモトキヨシ小売事業」で62百万円、「その他小売事業」で312百万円となり、連結決算における消去・調整で△12百万円となっております。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

5. 補足情報

売上及び仕入の状況

① 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業	107,436	95.0
卸売事業	3,543	79.7
管理サポート事業	801	101.1
合計	111,781	94.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

② 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	33,180	97.4
化粧品	39,305	91.4
雑貨	21,932	95.4
食品	12,917	100.5
小計	107,336	95.0
卸売事業	3,459	81.2
合計	110,796	94.5

(注) 1. 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入（テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等）は含まれておりません。

2. 売上に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

③ 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	
	金額 (百万円)	前年同四半期比 (%)
小売事業		
医薬品	21,472	99.2
化粧品	30,124	96.6
雑貨	17,016	97.0
食品	11,420	101.5
小計	80,033	98.1
卸売事業	2,380	62.0
合計	82,414	96.4

- (注) 1. 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。
 2. 仕入に係る消費税等の会計処理は税抜方式によっております。